Javascript 制御命令

ifとSWICHの違い

単純分岐（if命令）

if (条件式1) {

条件式1がtrueの場合に実行する命令

} [else if (条件式2) {

条件式2がtrueの場合に実行する命令

} [else {

全ての条件式がfalseの場合に実行する命令

}]]

* 「もし～だったら‥」という構造を表現するためのもの
* 与えられた条件式のtrue/falseという戻り値によって対応する命令(群)を実行する
* if命令の場合、複数の条件に合致する場合でも合致した最初のブロックのみ実行される

多岐分岐（SWICH命令）

switch (式) {

case 値1 :

「式 = 値1」である場合に実行される命令(群)

[case 値2 :

「式 = 値2」である場合に実行される命令(群)

[case 値N :

「式 = 値N」である場合に実行される命令(群) ...

[default :

式の値がすべての値に合致しない場合に実行される命令(群)]]]

}

* 先頭の式がまず評価され、その値に一致するcaseブロックを実行する
* 一致するcaseブロックが見つからない場合には、最終的にdefaultブロックを呼び出す
  + defaultブロックは任意だがどのcaseブロックにも一致しなかった場合の挙動を明確にするためにも省略しないことを推奨する
* switch命令は合致するcaseブロックに処理を移動するだけでcaseブロックを終了したところで自動的にswitchブロックから脱出するしくみは備えていない
  + break命令を記述して処理中のcaseブロックから処理を脱出するようにするのが一般的
  + break命令を指定していない場合、次のcaseブロックが続けて実行されてしまうので意図した結果が得られないので注意

if文が使われる条件式

条件式がtrueかfalseかよって実行する処理

Swich文が使われる条件式

複数の値の中のいずれかと一致するかどうかを調べ、実行する処理を分けることができる

If文のデメリット

特になし、

Swich文のデメリット

* 処理の回数が多いと速度に影響が出る
* 複数条件に対応しづらい
* 三項演算子が使えない

結論を言うと・・・・・

If文を使った方が良い